

日本ナレッジ・マネジメント学会 第11期（平成20年度）研究部会活動計画書
平成20年1月1日から12月31日まで

研究部会名	ベンチマーキング部会
研究部会長 連絡先	野村 恭彦（富士ゼロックス株式会社 KDI シニアマネジャー ／東工大特任准教授／国際大学 GLOCOM 主幹研究員） 〒106-6030 東京都港区六本木 1-6-1 泉ガーデンタワー30F 富士ゼロックス(株) KDI
窓口担当者 連絡先	〒 電話 () E-Mail
研究部会員	総数 10名 そのうち KM 学会員 名（平成 年 月 日現在）

1. 本年度の活動方針

<p>日本型の知識創造の場について、国内の先進事例を取り上げ、その成功要因を分析し、国内外に発信する。 とくに 21 世紀型の研究開発という観点で、どのような知識経営とイノベーション戦略に基づき、「知識創造の場」をつくり、実践しているかを明らかにしたい。 そのプロセスで、KM 学会員に対して先進企業への実地訪問機会を提供する。 調査結果は、メルマガ、経済産業新報への掲載、TKF での発表などにより、広く発信する。</p>
--

2. 本年度の活動予定

名 称	活 動 内 容	日時又は回数	概算費用
ベンチマーキング調査仮説構築ワークショップ	・調査仮説の議論 ・調査票の作成 ・訪問先調整・訪問後のフロー確立	3月	
ベンチマーキング調査・実地訪問	・スズキ、富士フイルム、日産、KDI	4月、6月、7月、9月（計4回）	
メルマガ発信、および経済産業新報への掲載	・実地訪問記を KM 学会メルマガにて発信 ・実地訪問記に、KM 解説を加えたものを新聞記事として毎回掲載	それぞれ計4回	
ベンチマーキング調査分析ワークショップ	・4回の実地訪問結果からの発見を整理 ・TKF での発表内容の吟味	9月、10月（計2回）	
TKF での中間報告発表	・1セッションをベンチマーキング部会で担う ・部会としてのキーファインディング発表 ・実地訪問先からの事例発表	11月	